

標題

出雲市新規就農者交流会を開催！

～ お互いの就農状況を意見交換し刺激と糧に ～

(ダイジェスト)

7月21日、出雲市で新規就農者交流会が開催され、現在の就農状況や自らが抱える課題などを意見交換しました。

交流会は毎年趣向を変えて行われており、今年は昨年度の参加者からの、「新規就農者同士で圃場をめぐり、実際の作物を見ながら意見交換をしては？」という意見から、新たな取組としてバスツアーを企画し、12名の新規就農者が参加しました。

出雲市農業支援センターは、毎年、交流会を実施し、新規就農者同士の大切な交流の場として活用しています。

今年度は栽培ほ場を見学しながら意見交換を行うバスツアーを企画し、自らが栽培していない品目や経営状況を知ること、参加者の大きな刺激となったようです。

当日は「花き」、「柿」、「ぶどう」、「アスパラガス」の4つの生産者・圃場を見学し、以下のような活発な意見交換がされました。

【意見交換の主な内容・質疑】

- ・なぜ菊で就農したの？何か特別なきっかけがあったの？
→最初は品目を決めていなかった。研修先の農家に影響を受けて決めた。
- ・柿の作業小屋に手製の収穫目標を決めたポスターが貼ってあるがどんな経緯で作成したの？
→雇用している友人と作成。忙しい時にも収穫目標を忘れず・楽しくできるように考えた。
- ・ぶどう 30a 規模は一人でこなせる？雇用は？
→農福連携として、福祉事業所に袋掛けや収穫作業等に来てもらっている。
- ・アスパラは、しゃがんで収穫するのか？
→そのとおり。体勢がきつくて大変です。

最後に、コロンビアからIターンで就農したAさんのブドウ園で集合写真を撮り、ほ場見学を終了しました。



<ブドウ園前にて>

また、後半の部の懇親会でも、さらに打ちとけた話をしつつも、「新規就農者向けに販売・取引先と話す機会を設けてくれれば、さらなる刺激になるのでは？」などの次回に向けた意見もあり、1日だけの交流会でしたが、今後ますます新規就農者間の連携が進みそうです。

農業普及部としましては、関係機関と密に連携を図り、新規就農者が、スムーズに自立していけるように技術・経営力向上の支援を行っていくことにしています。